

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
1	H28.8.3	市政懇談会 (H28)	湯本	教育部	こども課	保育園の情報について	市のホームページに保育園の公立や私立の件数など、保育園に関する情報が掲載されていない。掲載することはできないのか。	市のホームページに掲載されていると思うが、確認する。 →9/27現在 保育園一覧情報が2クリックで閲覧できるよう作成中。(10月上旬ごろ公開予定)
2	H28.8.3	市政懇談会 (H28)	湯本	教育部	こども課	市立湯本保育園の民営化について	湯本保育園が民営化することにより、国から補助金がもらえるのか。公立保育園に対して、幼稚園の保育料は安いということがあった。公立保育園だけでは、税金での負担が大きいの、民営化することが望ましいのではないのか。 北上市で、市立保育園職員の給料は高いが、法人の保育園職員の給料は安いという問題が生じた。花巻市では、このような問題が起こらないようにしてほしい。	市立湯本保育園は、学校法人湯本学園に移管し、保育園として運営することになる。民営化すると、施設整備について、国からの補助を受けることができる。運営費については、国が計算した保育園にかかるお金から保育料を差し引いたお金を国が負担する仕組みがある。法人の場合、国の補助の対象となる。 (認可保育園としては)公立でも法人でもこどもを預ける場合、保育料は同じである。 保育園が民営化することで、市の財政負担も軽減されることが見込まれる。 公立保育園職員は、法人に移行すると待遇が悪くなるのではないかと問題が生じるのではないかとということ。法人に移す場合、時間をかけて行っていくことを考えている。任期のない職員は、残った公立保育園でそのまま働いていただく。任期のある職員は、任期までそのまま働いていただくことで問題が起こらないように計画している。
3	H28.8.3	市政懇談会 (H28)	湯本	建設部	都市政策課	花巻空港駅の駐車場について	花巻空港駅に駐車場がないので、どうにかできないか。	石鳥谷駅前も同じような問題がある。10台分確保するという訳にはいかない。有料化でも作ってほしいという気持ちがあると思う。土地を購入してまで出来るかどうかも含めて、検討課題としたい。新花巻駅前、無料駐車場を有料化に移している。舗装した分を有料化で、負担してもらえばいい。市として収入を得ようという考えはない。料金は、24時間までは無料としており、通勤や通学の方などに配慮した料金設定をして使いやすいように整備している。新花巻駅は、盛岡駅以南では、新幹線駅として、一番乗降客が少ない。地域が活性化し、花巻が交通の要所になるよう、整備は進めている。花巻空港駅前と石鳥谷駅前の駐車場については、検討していく。
4	H28.8.3	市政懇談会 (H28)	湯本	教育部	こども課	保育園の民営化について	湯本保育園は、学校法人湯本学園に移管するが、そのまま湯本保育園は保育園になるのか。	湯本保育園のまま、引き継いでいただく。 10月から半年間、公立園に法人の職員が3人入り、引き継ぎを行う。
5	H28.8.3	市政懇談会 (H28)	湯本	商工観光部	商工労政課	バイオマス発電工場の説明会について	新しくバイオマス発電の工場ができるが、着工する前に工場の概要の説明をしていただいたが、今後も、説明いただく機会を設けていただきたい。	工場では、視察や見学の受け入れを行っており、体制が整っている。地域の方より、見学したい旨担当に連絡いただければ、調整したうえで地域の方にも見学できる機会を設けたいと思っている。
6	H28.8.3	市政懇談会 (H28)	湯本	商工観光部	商工労政課	バイオマス発電の有効活用について	発電によりでた熱水をハウスの園芸施設とか地域の工場の暖房などに上手く有効活用するなどできないものなのか。	このような相談は受けている。上手く利用して野菜を作るという構想もあるようだが、適地がなかなかないようである。今後、条件が揃うことができれば前進すると思う。
7	H28.8.3	市政懇談会 (H28)	湯本	健康福祉部	地域医療対策室	花巻市の医療体制について ①	総合花巻病院では、150床減少するようであるが、その受け皿として花巻温泉病院は、特に地域住民にはとても重要な病院であると思うが、今後の存続については大変危惧している。敷地の問題から新築は難しいとの話があったが、今後の方向性についてお聞きしたい。	総合花巻病院が150床減らすという話はない。花巻温泉病院がどうなるのかについては、岩手医大では花巻温泉病院の建て替え及び改修をするという考えはないと理解している。今後、矢巾に移転した後も、内丸には外来部門を残すことから、経費の面や医者を確保しなければならないことを考えると、存続については大変厳しいと思っている。現時点で、市では、花巻温泉病院の存続を医大に対して要望する考えはない。

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
8	H28.8.3	市政懇談会 (H28)	湯本	建設部	都市政策課	新花巻駅の利便性の向上について	市の人口減少対策では交流人口の増加を掲げており、そのためには様々な大会やイベントなどを開催して、県内外からお客を呼びこんでいく必要があると思う。そのためには、東京から新花巻駅間を2時間でいけるように要望すれば可能との話も聞いている。ぜひ市からも要望してほしい。	JR関係者とも話をする機会はあるが、そのような話は聞いたことがないし現実的ではないと思う。この件について、JRIに要望する考えはない。
9	H28.8.3	市政懇談会 (H28)	湯本	建設部	道路課	土木要望について	毎年、湯本地区区長会では、土木要望をとりまとめして、市に提出しているが、土木要望には上がっていない道路が整備された箇所があるようである。これはいかがなものか。区長会で要望した順番通りに整備をお願いしたい。	土木要望に上がっていない箇所が整備されているということは認識していない。今年度は、国からの補助金が当初の想定より多くなったことから、道路予算を増額して、これまで予算の都合で進められなかった箇所を優先して整備していく。道路整備について必要性に関する客観的基準も考慮し優先順位を考えていく必要がある。
10	H28.8.3	市政懇談会 (H28)	湯本	健康福祉部	地域医療対策室	花巻市の医療体制について②	市では、市内の医療体制についてどのように考えているか。	市は、平成27年2月に地域医療ビジョンを公表し、平成28年3月には県の地域医療構想が発表された。花巻市、北上市、遠野市が岩手中部医療圏となっているが、県では、慢性期、急性期の病床が多すぎる状態であることから、これらを減らし、代わりに回復期の病床は増やすこと、また、各地域で協議会を組織いただき話し合うように言っている。県立中部病院では、花巻市にも急性期に対応するための病院が必要であり、救急病院を置いてほしいと言っており、市でも同様の認識である。また、市では県に対して県立東和病院の存続を要望しており、現状では、県も閉院する考えはない。岩手医大付属花巻温泉病院については、岩手医大次第だが、存続については、大変厳しいという認識である。宝陽病院は、慢性期の対応であり病床を減らす可能性は高いが、存続する見込みである。このことから、市では、急性期と回復期を担うための病院として、総合花巻病院が必要であることから、現在、整備計画について話を詰めている状況である。
1	H28.8.23	市政懇談会 (H28)	田瀬	東和総合支所 総合政策部	東和総合支所地 域振興課 秘書政策課	近隣地域との交流について	田瀬ダム完成60周年記念事業として、砥森山の山開きを、田瀬地区に合わせて宮守・鱒沢の3か所同じ日に行ったことがある。また、2、3年前からは、遠野市・花巻市・奥州市江刺区の市民が協同で田瀬湖のゴミ拾い・川柳大会を開催して交流している。しかし、自治体をまたぐ事業であることからその後のにぎわいに繋がらない。交流を深めていくためにはどのような方法があるのか、ご教授願いたい。	昭和の時代に、田瀬地域には国道107号線、主要地方道江刺田瀬線、下宮守田瀬線の主要な道路が整備され、生活圏の拡大が図られてきた。現在では、釜石自動車道が整備され、釜石市と時間的にも距離的にも短縮が図られている。田瀬地区の生活圏は遠野市、北上市、奥州市と広がっている状況。また、田瀬湖利用関係機関連絡会議では、田瀬湖を利用している団体が、相互理解、環境保全に努めるため、情報交換、相互調整を図っている。さらに田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会においては、田瀬湖一斉清掃、田瀬湖ウォーキング、砥森山周辺交流事業の検討などを行っており、現在、東和総合支所が事務局となって進めている。田瀬湖に関わる連絡会議や推進協議会には花巻市、遠野市が構成員となっており、今後も猿ヶ石川流域にある遠野市との連携を図っていく。 隣接する地域との交流については、行政主導の交流では長続きしないので、田瀬地域コミュニティ会議が主体となって、地域のお祭りや行事などに招待したり、合同の行事を執り行うなど企画してみてはいかがか。 遠野市、奥州市との協力関係は、今はいい状況。特に遠野市とは具体的な連携事業を模索しているところ。県も支援していただけるので、田瀬地区で交流事業、連携事業をやりたいと考えたときは、ぜひ教えてほしい。

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
2	H28.8.23	市政懇談会 (H28)	田瀬	建設部	道路課	県道下宮守田瀬線の改良工事について	田瀬大橋が通行止めになった時、県道下宮守田瀬線をかなりの車が田瀬を通過し宮守に抜けて行った。交流を深めるためには道路改良が必要と考えるが、市の考えを伺いたい。また、田瀬と宮守の境あたりの道路に測量調査中との看板があったが、その意味について分かれば教えてほしい。	堰堤沿いの道路の整備については、ダム建設時からの懸案事項。県に対して要望を出しているが、改良がなかなか進まない状況。測量調査中の看板は、県道下宮守田瀬線の道路台帳整備に伴う測量です。(9/12花巻土木センター確認) 道路の拡幅工事については、一番の問題は堰堤の道路幅が狭いことだと思う。この問題を解決するには、橋を架けたりトンネルを作らないといけないと思うが、県もお金がない。県内でも優先順位が高くないと思うので実現は難しいと思う。
3	H28.8.23	市政懇談会 (H28)	田瀬	東和総合支所	東和総合支所地域振興課	レクリゾート事業等で整備した公共施設の活用について	少子高齢化による人口減少及びリゾート事業衰退の社会的要因、さらに施設の老朽化等により、地元では指定管理による施設管理が難しくなっており、利用人数も減少している状態である。今後、これらの施設をどのように活用し、田瀬地区の振興に繋げていこうと考えているのか。また、施設の今後の在り方についてお伺いする。	田瀬湖レクリゾート事業等で整備した施設等については、平成24年秋季市政懇談会において施設の在り方の検討について要望をいただいたことから、平成25年度に、市の内部会議「田瀬地域公共施設の在り方検討会」を立ち上げ、4回にわたり検討し、県南広域振興局とも補助事業で整備した施設等について、打ち合わせを行った。また、平成25年12月には田瀬地域コミュニティ会議の役員の方々とも意見交換を行った。その結果、補助事業等で整備した施設等については、耐用年数がまだあることから引き続き管理を行い、利用可能な限り活用していくこととした。 しかしながら、人口減少、高齢化など社会情勢の変遷要因もあり、利用客の減少及び施設管理維持が課題となっている。現在指定管理を行っている「田瀬湖振興公社」と市で、今後の施設運営及び観光資源でもある田瀬湖の利活用等について相談を始めている。 施設の在り方については、東和総合支所で考えてもらう。ポート場は維持していかなければならないと思う。
4	H28.8.23	市政懇談会 (H28)	田瀬	東和総合支所 農林部	東和総合支所地域振興課 農村林務課	田瀬地域の西武鉄道㈱所有地及び旧川崎市保養施設用地について	田瀬地区には、バブル時代に西武鉄道㈱で買上げた約250haの山林・原野がある。西武鉄道㈱所有の山林は荒れ放題となっているので、市で西武鉄道㈱に対し、管理や活用について働きかけをして欲しい。また、向田瀬地域では木の伐採が行われると聞いているが、その後の活用について何か聞いているか伺う。 また、小倉地域にある旧川崎市保養施設用地は、川崎市から条件付き無償譲渡を受けたものだが、旧保養用地の活用についてもどのように考えているのか伺う。	田瀬地区にある西武鉄道㈱の社有地活用については、西武鉄道㈱管財部、森林施業を受託している花巻市森林組合から、森林の伐採予定などについて昨年度より意見交換をし今後の活用計画、取り組みについて説明を受けているところ。伐採後の土地の活用策については、地元住民との意見交換も必要との認識を西武鉄道㈱も持っているの、地元との協議を行いながら進めていきたいと考えている。現段階では、伐採後の活用については決まっていない。 また、川崎市から無償譲渡を受けた用地については、川崎市との交流も現在行っていることから、川崎市サマーキャンプ等の交流の場として活用していく。 現在、西武鉄道㈱とはコミュニケーションが取れる状況になっている。リゾート開発は難しいと思うが、何かしらの可能性があれば模索していきたい。川崎市から無償譲渡を受けた用地については、旧東和町に無償譲渡する条件として、施設を整備する際には川崎市民が使える施設を作ることとなっていると認識している。サマーキャンプで使用する分には問題ない。
5	H28.8.23	市政懇談会 (H28)	田瀬	東和総合支所 生涯学習部	東和総合支所地域振興課 スポーツ振興課	田瀬湖へのごみ流入について	昨日の台風の大雨で、大量のごみが田瀬湖に上流から流入している。柏木平にある河川敷の広場で遊んだ子供会が出したごみも流れてきていた。遠野市長に話をして解決してほしい。	国体もあるので担当者レベルでお願いするのがいいと思う。また今あるごみの処理は、県及びダムと相談して検討する。
6	H28.8.23	市政懇談会 (H28)	田瀬	教育部	小中学校課	学校巡回指導について(お礼)	花巻市こばを育む親の会をお願いしていた巡回指導を、今年度実施いただきありがとうございました。来年もよろしくお願ひしたい。	

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
7	H28.8.23	市政懇談会 (H28)	田瀬	生涯学習部	生涯学習課	旧田瀬保育園の払い下げ(改造)について	今、旧田瀬保育園をお借りして制作活動を行っている。保育園の部屋2室空いているのでギャラリーにしたいと考え払い下げの相談をしているが、なかなか進まない。できれば、ギャラリーとして部屋を改造したいので許可してほしい。	市の施設を改造し用途変更する場合は、県と相談して進めなければならない。また、用途変更するためにはお金もかかる。また、無料で払い下げとなるとさらにハードルが高くなるので、簡単に進むものではない。少しでも意向に沿えるよう相談して進めたい。 生涯学習課と東和総合支所に対応するように指示あり。
8	H28.8.23	市政懇談会 (H28)	田瀬	農林部	農村林務課	クマ対策について	今年はクマの発生が多く怖い。また、シカやハクビシンも出てくる。クマの目撃情報の提供も大事だが、対策としてその他に何かできないものか。	クマについては、子供の安全を重視し、子供に危険があるときは駆除しているので、何度でも通報してほしい。クマの頭数自体増えているので、住民の安全を確保するためには駆除する必要もある。 また、花巻市の計画では、シカは年間750頭捕獲することになっている。国の交付金を活用し捕獲を行うが、国からは予算要望額より少ない予算配分となっているので、市で予算措置して捕獲したいと考えている。ハクビシンはワナの貸し出しを行っており、電気柵設置には補助をしているので利用して欲しい。
9	H28.8.23	市政懇談会 (H28)	田瀬	東和総合支所 商工観光部	東和総合支所地域振興課 観光課	観光施設の周知について	モンゴルタワーの場所を観光客に聞かれ、「今はない」と答えたところ「せっかく遊びに来たのに」と文句を言われた。また、雑誌を見てあやめ苑を見に来たという観光客が来た。市としては最新の情報を流していると思うが、インターネットなどに掲載する情報は、最新情報を周知してほしい。	インターネットなどに掲載する情報は最新情報を周知するが、周知を徹底するのはなかなか難しい。
10	H28.8.23	市政懇談会 (H28)	田瀬	東和総合支所 総合政策部	東和総合支所地域振興課 秘書政策課	光ケーブルの架線について	NTTに光ケーブルの話を聞いたところ、採算が取れないので田瀬地区には引くことは難しいと話をされた。ただ、光ケーブルを行政サービスに活用したいと、行政から働きかけてもらえれば対応を考えたいと話もあった。ぜひ光ケーブルを引いてもらえるよう働きかけをして欲しい。	NTTから、田瀬地区や大迫地域の外川目、内川目地区は基地局の改修が必要ことから、NTTの事業としては行わないと言われている。しかし、市が行う光ケーブルの整備事業に対し国の補助があるので、この補助金の活用や過疎債の発行により取り組むことも考えられる。ただし、この事業を行うためには利用希望者が少ないとNTTでも取り組んでもらえない。今後利用希望者を調査し、整備にいくら費用がかかるのか財源はどうするのか、整備の順番をどうするのか考えながら今後検討していく。ぜひアンケート調査の際にはよろしくお願いする。
1	H28.8.29	市政懇談会 (H28)	矢沢	建設部	道路課	土木要望について	区長会を通じて土木要望をしているが、一番古い要望箇所は平成19年度の要望であり、最も新しい箇所でも5年前だが、1件も採択になっていない。地域によって差がないと思うが、土木要望にかかる市全体での採択の状況などについてお聞きしたい。	27年度は、27地域から292箇所の要望があり、今年度到新規採択された事業は7箇所となっている。矢沢地区の今年度事業件数は8箇所、うち要望に対する事業実施箇所は4箇所であり、新規箇所はなかった。平成26、27年度は、要望に対して国からの交付金の割合が国全体で低く当市は他市と比べると低くはなかったが継続路線についても十分な予算を確保できない状況であった。平成27年度末に追加配分となり本年度に繰り越された分も含む今年度は、国からの交付金を確保できたことから継続路線の完成に向けて取り組む。来年度は、新規採択路線を増やしたいと考えている。矢沢地区の要望箇所は、昨年度と変更なしと回答いただいているが、新規採択基準により評価して予算や市全体の状況をみながら検討する。なお、新規採択にあたっては、地域間の格差がないように考慮している。 国からの交付金は、ストック効果や防災安全などの理由付けがないと予算が付きにくい状況となっている。今年度は、昨年度に比べ国からの交付金が増えたことにより、これまで整備路線として採択されても数年に亘り着工できなかった箇所が多くあったが、本年度中にだいたい整備が進み見込みである。
2	H28.8.29	市政懇談会 (H28)	矢沢	建設部	道路課	朝日橋の歩道橋設置について	塗装工事も順調に進んでいるが、道路幅が狭いため歩行者や自転車を通る方の安全性が危惧されることから、歩道橋の設置を検討いただこうお願いしたい。	岩手河川国道事務所とも協議している。設置の可否や時期については、検討する必要があると考えている。

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
3	H28.8.29	市政懇談会 (H28)	矢沢	建設部	道路課	市道上台朝日橋線の歩道について	朝日橋から東のとことの歩道整備が中断しているが、早々に着工していただきたいと思っている。今後の見通しについて伺いたい。	朝日橋の補修工事は今年度で完了することから、来年度には工事を再開したいと考えている。
4	H28.8.29	市政懇談会 (H28)	矢沢	建設部	道路課	新花巻駅西工区整備事業について	農事組合法人胡四王みらいでは、「銀河の雫」の水稲種子の生産を予定しているが、市から事業の進捗状況や説明が不足していると感じている。そのため今後の見通しが立たず苦慮している。関係者への説明をきちんとしていただくようお願いしたい。	大変申し訳ない。地域の方に対して再度説明会を行いたい。また「銀河の雫」の作付についても、地域の関係者と協議を進めていきたい。なお、西工区事業は、昨年度に用地測量を実施し、今年度は、用地買収と物件補償を進めている。その後、工事に入るが今のところ3ヶ年で終わる予定としている。
5	H28.8.29	市政懇談会 (H28)	矢沢	建設部	道路課	緊急車両の通行に支障のある生活道路について	高木タクシーからイギリス海岸への道路は、幅員が狭いため救急車両が入れないことが想定される。対策は何か考えているのか。	現地調査をしたうえで後日回答したい。 [9/8、発言者佐藤、高木小路行政区佐藤区長、他1名と協議] ・平成23年度に市道下小路環状線の高木タクシーから130mの区間について、矢沢振興会から幅員が狭いことによる拡幅の整備要望が提出されているが、今年度は未実施であることを説明した。 ・当該要望箇所より更に550m北側の箇所に住居がなく行き止りとなっている200mの区間など新たに2か所について状況の説明を受けた。 ・区長から3か所の要望の中でも高木タクシーから130mの区間を優先的に実施していただきたい旨説明を受けた。 ・土木施設整備要望については、新規採択基準の要件をもとに緊急性・必要性を考慮し、市内全体を見据え、実施箇所を選定しますので矢沢振興会と協議を行い、地域の課題として要望していただくこととなります。
6	H28.8.29	市政懇談会 (H28)	矢沢	建設部	道路課	市道宮澤賢治記念館線への融雪装置について	勾配が急なため冬期間は、大型バスの通行に支障があったり危険だったが、融雪装置を設置いただき感謝する。	勾配が急な箇所に融雪装置を整備し、昨年度は試験稼働を実施し効果を確認したところ。今年度から本格稼働をするのでよろしく願いたい。
7	H28.8.29	市政懇談会 (H28)	矢沢	建設部	道路課	用水路の整備について	かぬきざ堤の隣にある市の用水路が、風化で蛇行となり溜め池の土手が浸食され決壊の恐れのある箇所がある。先日、建設部長にも現地を確認いただいたが、その後特に連絡がない。市で対応いただけるのか。	対応について検討しており、後日回答する。 →[9/2高松第1行政区多田区長に回答] 市が管理する用排水路であることから、浸食され機能が著しく低下した箇所については、復旧する。 水路幅以外の法面の土地は個人所有であり、工事用の道路がないことから重機搬入についても地権者から協力をいただいた。 [8/4 区長と現地確認] [8/5 用排水路の管理区分について猿ヶ石北部土地改良区に確認] [8/17土地改良区から管理区域外であるとの回答] [9/1 施工に伴う重機の搬入路がないことから工法検討と見積もり依頼]
8	H28.8.29	市政懇談会 (H28)	矢沢	農林部 建設部	農地林務課 道路課	枯れ松の所有者への連絡について	市道に枯れた松の枝が出てきて交通に支障のあるところがあるが、この場合は市から所有者に対しては、連絡いただけるものか。	市で現地確認の上、所有者に対して交通の支障となっている枝等の写真を添付のうえ、処理していただくよう文書でお願いしている。
9	H28.8.29	市政懇談会 (H28)	矢沢	消防本部	警防課	貯水槽について	以前に矢沢地区で火災が発生した際に、近くの消火栓が使えなかったことがあった。団地内には貯水槽があるが、普段はどれくらいの水量が貯まっているのか。また、貯水槽は、対応する世帯数に応じてどれくらいの貯水量が必要なのか基準があるのであればお聞きしたい。	後日回答する。 →消防本部警防課より回答済。 高木団地内には雇用促進住宅高木宿舎2号棟南側、高木南市営住宅西側、高木ヶ丘公園敷地内に3基の防火水槽があり、容量は3基とも40㎡で、普段から満水状態である。世帯数に対しての貯水量の基準はないが、消防水利の基準では、常時貯水量が40㎡以上又は取水可能水量が毎分1㎡以上で、かつ、連続40分以上の給水能力を有するものでなければならないとされており、高木団地には基準を満たした消防水利は消火栓24基、防火水槽3基設置されている。なお、市では、消火栓が地震等で使用できなくなった場合のことを考え消火栓だけに偏ることがないように計画的に設置している。

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
10	H28.8.29	市政懇談会 (H28)	矢沢	市民生活部 建設部	生活環境課 道路課	市道の草刈りをボランティアで行った際の草の収集について	地域で、市道の草刈りをボランティアで行っているが、刈った後の草をそのままにしておく、衛生面や景観もよくないので以前、市に相談したが、自ら草を集めてごみ袋に入れ集積所に出すように説明された。しかしながら、膨大な量で難しいことから、市で対応いただけないものか。	市がどこまでやれるのかということ。やった方がいいと思うが、市内の市道をすべてを行うとすれば莫大な予算が必要となる。財源は限られており市で対応することは難しい。
11	H28.8.29	市政懇談会 (H28)	矢沢	市民生活部 建設部	生活環境課 道路課	一斉清掃で刈った草の収集について	一斉清掃の際、市道の法面の草刈りを実施しているが、刈った草は、市で収集して処分いただけないものか。	一斉清掃で刈った草についても、地域で収集していただき集積所に持参いただくようお願いしたい。
12	H28.8.29	市政懇談会 (H28)	矢沢	商工観光部	商工労政課	花巻機械金属工業団地への企業誘致について	花巻機械金属工業団地への企業誘致を積極的に行っていただくようお願いしたい。	大手の製造業は、コストが低く抑えられる海外に生産拠点をシフトしており国内での製造業の企業誘致は大変厳しい状況。自動車関連企業は、金ヶ崎町から大衡村の間では、部品関連企業の立地の動きはあるが、花巻は少し離れており難しい。現時点において、花巻機械金属工業団地内への立地の動きはない状況である。その中で、トヨタの関連企業と市内の企業とで情報交換会を予定している。このような機会を設け市内の魅力ある企業を紹介することで、仕事の取り引きに繋がるきっかけになれば良いと思っている。